



福島南ロータリークラブ

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
 tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878
 例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
 tel. 024-523-3811(代) fax. 024-23-0375
 HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011年—2012年 RI テーマ

- 会長：高橋和之 ■幹事：菅原節子
- 会報委員長：松崎弘昭 ■副委員長：鈴木光一
- 委員：丹治智幸 丹治洋子 福田昌明

第42回例会

平成24年5月23日(水) サンパレス福島

■メークアップ/25名 ■修正/67名 ■修正率/100% ■会員/67名 ■出席/42名 ■出席率/62.69%

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 来訪者紹介と会長挨拶
- 3 復興支援室福島大学プロジェクト 廣澤 俊樹 室長
- 4 イニシエーションスピーチ 榎 隆裕 会員
- 5 第2530地区 各委員会 ゲストスピーチ
 《新世代委員会》
 インターアクト委員会 佐久間 功委員長
 ローターアクト・ライラ委員会 伊藤 弘子 委員
 《ロータリー財団委員会》
 学友・奨学金委員会 斎藤 浩 委員
 年次寄付・恒久基金委員会 高橋 勇雄 委員
- 6 移動例会について 職業奉仕委員会 金子 親房委員長
- 7 閉会点鐘

今月・来月のプログラム

- 5月30日(水) 移動例会 ヤクルト福島工場
- 6月6日(水) 2012～2013年度地区協議会
ホテルハマツ 例会休会
- 6月13日(水) クラブ協議会・活動報告①
2012～2013 第1回理事会
- 6月20日(水) クラブ協議会・活動報告②

今週のトピックス

今週は、21日(月)の金環日食、22日(火)の世界一の電波塔スカイツリー開業と大きな話題がありました。今回と同じ規模で日本の広範囲で金環日食が観測できるのは、ちょうど300年後の2312年4月4日ですが、そのころスカイツリーはどうなっているのでしょうか。

◆会長あいさつ◆



高橋 和之 会長

先週の例会終了後に第12回理事会が行われました。そのご報告を申し上げます。

先ず、はじめに、今年度に入って長い期間、検討と推進を重ねて参りました「葉っぱのフレディ いのちの旅」PJは、日本委員会と地区から補助金のご承認をいただきましたものの、補助金が大幅に減額された結果となりました。それについて今後の対応を如何にするか、出席理事全員の意見を求め審議した結果、持ち出し金の面で当南クラブ単独では最大に努力しても、力が及ばない結論となりました。従いまして、地区に実行委員会を立ち上げていただき、当プロジェクトを実行していただくよう、地区組織にお願いすることに理事会で決定致しました。

そのことを受けまして、早速、復興支援室関係者会議を開き、地区組織の「災害支援本部会議」の委員でもあります宍戸清和直前地区幹事にお骨折りいただきまして、先週末に会長親書を携えて、地区の役員関係者に状況説明とお願いをしていただきました。

いのちの大切さと情操教育をテーマにした「葉っぱのフレディ福島講演」の企画立案が、実現まであと一歩のところまでになったことを踏まえ、何とか実現したいと切に思うところであります。

もう一つの理事会ご報告ですが、6月27日の最終例会のことです。6月6日が地区協議会で休会となった為に、新旧委員会歓送迎会を最終例会に組み入れました。

丁度ホテルの飛びかう時期のピークが6月27～28日頃ということで、川底から沸いてくるようなホテルの舞を、是非皆さんと一緒に感動を共有したいとの小坂親睦活動委員長の思いに、私も共感しましてこの企画になりました。

新旧委員会歓送迎会のご案内にもありますように、申し込みは今月末となっております。多くの皆様と一年間の思い出を語り合い、そして新たな次年度の壮行会を挙行致したいと思っておりますので、多くのご出席をお願いいたします。

なお、送迎バスを仕立てますのでご利用ください。自家用車で往かれる場合は、通行券を発行いたしますので早めにお申し込みください。通行券が無いと「うぶかの郷」まで乗り入れできませんのでご承知おきください。

来週は移動例会でヤクルト工場見学です。ヤクルト工場は大改装と今回の震災復興の為に6年ぶりの一般見学と伺いました。今年度は欲張りまして、3回の職業奉仕委員会によります移動例会を開催いたしました。職業奉仕委員会のご活躍と多くの出席者に感謝申し上げます。

◆復興支援室 福島大学プロジェクト◆

廣澤 俊樹 室長



6月10日から1週間の日程で、「学生の力で、世界と繋がるプロジェクト」が始まります。現在、日本の学生を含め中国、ウクライナ、インドネシア、マレーシア、台湾などから26名がエントリーされています。南クラブの会員も全行程に参加できますので、学生の熱い思いを感じてください。

◆イニシエーションスピーチ◆

榎 隆裕 会員



4月4日に入会した東邦銀行南福島支店勤務の榎です。生まれは福島の大森でまさに南RCの地元ということになります。

入会式での奉仕についてのお話や4つのテストを聞いて、サラリーマンの私にとっては非常に新鮮な気持ちになりました。

◆2530地区 各委員会 ゲストスピーチ◆



地区のインターアクトの大きな活動事業として、年次大会、国際理解研修、リーダー研修の三つがあります。インターアクトクラブは、12歳から18歳までの学生が対象となっており、将来のリーダーの育成に努めています。

ローターアクト・ライラ委員会

伊藤 弘子 委員



ライラとは、ROTARY(ロータリー)、YOUTH(ユース)、LEADERSHIP(リーダーシップ)、AWARDS(アワード)の頭文字をとったもので、「ロータリー青少年指導者養成プログラム」と訳されており、14歳から30歳までの青少年男女を対象にロータリーが開発した集中プログラムです。今年度のライラ研修会には、当クラブから福島コミュニティ放送に勤務の菅野洋樹さんとタカラ印刷に勤務の斎藤美和さんの2名が参加する予定となっております。

《ロータリー財団委員会》
学友・奨学金委員会 斎藤 浩 委員

学友・奨学金委員会 斎藤 浩 委員



学友とは、読んで字のごとく、学んだ仲間と解釈すれば良いと思います。奨学生(大学生)やGSE(会社で2年以上勤務経験がある社会人)が海外での研修を終えて帰ってくると学友になります。帰国してから社会で活躍してくれる人材を選定して送り出し、帰ってくると5

つのロータリークラブでスピーチを行うことになっています。しかし、実際には、財団委員会の委員が一年で交替になってしまうこともあって後々までのフォローがなかなか出来ていないのが現状です。

年次寄付・恒久基金委員会 高橋 勇雄 委員



年次寄付は、一人100\$以上を目標に1000\$達成毎にポールハリスフェローが送られる。恒久基金は各クラブ1名以上のベネファクター(1000\$)を目標とした金額にかかわらずに寄附で、10000\$以上の大口寄附者を

メジャードナーと言います。財団の寄附については、3年後に地区に50%が返還される仕組みで、今年度から財団寄附の損金算入が認められました。

◆移動例会について◆

金子 親房 職業奉仕委員長

次週の例会は、ヤクルト本社福島工場での移動例会になります。入口の左側に警備室があり、そこに皆さんの名簿を提出しておきますので、それぞれ名乗っていただきチェックを受けてください。駐車場は、事務所入口前ですが、SAAの指示に従ってください。

◆スマイリングボックス◆

地区委員のスピーチありがとうございます。

高橋 和之 会長
第2530地区の各委員会、委員長、委員スピーチ宜しくお願い致します。
菅原 節子 幹事
誕生日をいただき 齋藤 ミヨ 会員
2530地区各委員の方のスピーチを記念して。

鈴木 光一 会員
先週、会津高校14期生の前倒しの古稀祝いに行って参りました。一瞬にして青年に戻れました。

富田 健三郎 会員
本日も元気で出席できた事に感謝。
林 克重 会員

スマイル 43,000円 累計 1,782,873円
財団・米山 43,000円 累計 1,770,000円

◆理事会報告◆

5月16日の第12回理事会において柴田和美会員の退会届が同日付で受理されました。

～一週一言～

父母憲章5

父母は物質的・功利的な欲望や成功の話に過度の関心を示さず、親戚交友の陰口を慎み、淡々として、専ら平和と勤勉の家風を作らねばならぬ。

安岡 正篤 一日一言より

―編集後記―

今年度の会報委員もあと1ヶ月で終了です。と思いきや、出来の悪い委員長の私は、もう一年お世話になることになってしまいました。(松崎弘昭)